



# 本巣市 議会だより

第17号

## contents

- 12月議会開かれる…………… P. 2
- 定例会で決まったこと…………… P. 4
- 10議員が一般質問に立つ…………… P. 6
- 委員会活動…………… P.11
- この人に聞く…………… P.14



▲左義長（本巣地域）  
小正月に行われる火祭りの行事

# 12月議会開かれる



12月5日～21日、平成19年第7回定例会を開き、人事案件1件、条例改正7件、規約改正2件、平成19年度補正予算11件、平成18年度決算6件など、32議案を審議・決定しました。その他、国・県に対する意見書3件を採択しました。

## 暴力追放都市宣言

### を決議

暴力及び暴力的言動は市民生活の平和と安全を脅かし、社会の破滅を招くものである。あらゆる暴力を追放し、社会の安寧・秩序を確立することは、本巢市及び市議会に課せられた重要課題である。

また、近年は、暴力団等の反社会的団体が、地方公共団体などの行政機関に対し、違法・不当な要求を行う「行政対象暴力」も顕著化していると言われており、このような不当要求に対しても断固たる対応が求められている。

よって、本市議会は、関係機関に対し暴力団等の対策強化を要望するとともに、市民・行政・事業者等一体となり、暴力追放の機運を高め、暴力のない明るく安心して暮らせるまちを実現するため、ここに暴力追放都市宣言をし、同時に市が推進するよう要望する。

●意見書を採択●

国 対 する

意見書を採択

道路特定財源制度の堅持に関する意見書

地方にとって道路は、地域の産業・経済・日常生活の根拠を担い、まさに生活基盤そのものであり、最も重要な生活関連社会資本として整備され、地域の活性化と豊かな生活の実現のため資するべきものであります。

本市は、岐阜県の南西部に位置し総面積374平方キロメートルで南北に長い地形となっており、自動車への依存度も高く、道路整備に對する市民の要望も強くあります。

東海環状自動車道（西回り）の整備、国道157号、303号、418号を基軸とする、幹線道路の整備も重要な課題となっております。

住民の望む道路整備を、計画的かつ着実に推進するためにも道路整備を目的とした道路特定財源制度を堅持するとともに、遅れている地方の道路整備に積極的に充当されるよう、平成20年以降も次の措置を講ずることを強く求めます。

- 1 道路特定財源諸税の暫定税率を延長するとともに、受益者負担の趣旨にそぐわない一般財源化や転用を行うことなく、すべて道路整備を強力に推進するために充てること。
- 2 地方道路整備臨時交付金制度を継続すること。

原爆症認定問題の早期解決を求める意見書

昭和20年8月に投下された原子爆弾は、一瞬に広島、長崎の街を廃墟にし、21万人の尊い命を奪い、現在、国内には約25万人、岐阜県には6000人を超える被爆者が存在するが、その多くがさまざまな病気に苦しんでいる。

被爆者の援護については、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、国において様々な対策が講じられているが、原爆症の認定については、全国各地で認定申請を却下された被爆者から却下処分取り消しを求める集団訴訟が提訴されている。しかし、国はかかる裁判において原爆症と認定すべきとする判決を受けても控訴し、結果として認定を拒んでいる。

原爆投下から62年余が経過した今でも原爆症の発病をはじめ、多くの苦難と向き合い、不安な日々を送る被爆者の苦しみは計り知れないものがあり、高齢化する被爆者には一刻の猶予も許されない状況である。

よつて国におかれては、高齢化した被爆者の救済の観点から、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の趣旨を踏まえ、原爆症認定集団訴訟の控訴を取り下げ、すべての裁判の解決を図ること、また原爆症認定制度を被爆者の実態に即したものに抜本的に改正し、早期に被爆者救済について適切な対応を図られるよう、意見書を提出する。

県 対 する

意見書を採択

上真桑若宮地区内での砂利採取事業に関する意見書

本巢市上真桑若宮735番地外3筆において砂利採取事業が計画されております。

この事業について、地元自治会から現状での同意はできない旨の請願が提出されました。

本巢市議会としては、地域住民の安全・安心な生活が確保されるよう強く望んでおります。

砂利採取計画認可申請書の取り扱いについては、「岐阜県砂利採取計画認可申請手続要領」に定める添付書類が整備され、また「本巢市砂利採取事業等に関する指導要綱」において求める事項が達成されるまで慎重に取り扱っていただきたく強く要望します。



● 19年度補正予算など決まる ●

# など決まる

- ◎ **人権擁護委員候補者の推薦** (全員賛成)  
屋井:高橋晃さん
- ◎ **政治倫理の確立のための本巢市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例** (全員賛成)
- ◎ **本巢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例** (全員賛成)
- ◎ **本巢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例** (全員賛成)
- ◎ **本巢市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例** (全員賛成)
- ◎ **本巢市教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例** (全員賛成)
- ◎ **本巢市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例** (全員賛成)
- ◎ **本巢市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例** (全員賛成)
- ◎ **本巢消防事務組合を組織する市町数の減少及び本巢消防事務組合規約の変更** (全員賛成)  
平成20年4月1日から瑞穂市が本巢消防事務組合を脱退するため
- ◎ **本巢消防事務組合から瑞穂市の脱退に伴う財産処分** (全員賛成)
- ◎ **西濃環境整備組合規約の変更** (全員賛成)
- ◎ **市道路線の認定** (全員賛成)
- ・請願
- ◎ **上真桑若宮地内での砂利採取事業** (全員賛成)
- ◎ **原爆症認定制度に関する意見書の採択** (全員賛成)
- ・決算認定
- ◎ **18年度一般会計歳入歳出決算** (全員賛成)
- ◎ **18年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算** (全員賛成)
- ◎ **18年度老人保健医療特別会計歳入歳出決算** (全員賛成)
- ◎ **18年度簡易水道特別会計歳入歳出決算** (全員賛成)
- ◎ **18年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算** (全員賛成)
- ◎ **18年度公共下水道特別会計歳入歳出決算** (全員賛成)
- 意見書・決議
- ◎ **暴力追放都市宣言決議** (全員賛成)
- ◎ **道路特定財源制度の堅持に関する意見書** (賛成多数)
- ◎ **上真桑若宮地内での砂利採取事業に関する意見書** (全員賛成)
- ◎ **原爆症認定問題の早期解決を求める意見書** (全員賛成)
- ◎ **第6回臨時会 (10月30日) 審議結果**
  - ◎ 損害賠償の額を定め、和解することについて (賛成多数)
  - ◎ 19年度一般会計補正予算 (第4号) (賛成多数)

12月				11月										日時	場所	内容		
5日(水)	4日(火)	1日(土)		27日(火)	26日(月)	25日(日)	22日(木)	20日(火)	19日(月)	16日(金)		13日(火)	11日(日)				6日(火)	4日(日)
議会運営委員会	定例会開会	すこやかセンター 市国民健康保険運営協議会	ぬくもりの里 市社会福祉大会	糸貫分庁舎 根尾川花火大会実行委員会	議会運営委員会	市健康づくり推進協議会	愛媛県東温市議会視察研修来庁	第28回支部長権争奪本巢少年剣道錬成	県都市国民健康保険運営協議会連合会総会	西濃環境整備組合定例会	議会だより編集特別委員会	中濃十市議会議員研修会	議会全員協議会	本巢消防本部 本巢消防事務組合議会	すこやかセンター 市男女共同参画フォーラム	市功労者・善行者表彰	多目的広場 もとす織部祭り	本巢消防本部 本巢消防事務組合全員協議会

## 議会議員活動日誌

●19年度補正予算など決まる●

# 19年度補正予算

今議会で決まった主な議案をお知らせします。

## ◎一般会計補正予算(第5号)

**4170万9千円追加補正 総額156億248万4千円** (全員賛成)

### ◎歳入

障害者自立支援給付費負担金(国庫負担金) ----- 904万1千円  
支給決定者の増に伴う増額

被用者児童手当負担金(国庫負担金) ----- 343万2千円  
対象児童の増に伴う増額

介護給付費市町村負担金精算金 ----- 1394万8千円  
前年度介護給付費精算金

### ◎歳出

財政調整基金積立金 ----- 2億円  
財源調整による増額

自立支援給付関係諸経費 ----- 1808万2千円  
支給決定者の増に伴う「介護給付費」の増額

幼稚園管理費 ----- 126万0千円  
真正幼稚園、糸貫東及び西幼稚園に設置するAED購入費

## ◎その他の補正予算(いずれも全員賛成)

国民健康保険特別会計	事業勘定	1億4171万5千円
	施設勘定	65万4千円
老人保健医療特別会計		1190万6千円
公共下水道特別会計		△490万6千円
簡易水道特別会計		0円
水道事業会計	収益的収入	100万円
	収益的支出	100万円
	資本的収入	△100万円
	資本的支出	0円

1月						12月												
30日(水)	29日(火)	20日(日)	17日(木)	13日(日)	10日(木)	6日(日)	26日(水)	25日(火)	21日(金)	19日(水)	18日(火)	17日(月)	13日(木)	11日(火)	10日(月)	7日(金)	6日(木)	
真正すまかせデー	本集体育センター	もすまかせデー	市民文化ホール	本庁舎駐車場等	市内4地域	消防出初式	消防年末夜警巡視	議会だより編集特別委員会	定例会閉会	議会だより編集特別委員会	議会運営委員会	本会議(一般質問)	文教福祉委員会	議会運営委員会	本会議(一般質問)	樽見駅前広場	樽見駅多目的施設整備工事安全祈願祭	樽見駅多目的施設整備工事安全祈願祭
議会運営委員会	市健康づくり推進協議会	大野橋駅伝競走大会	市都市計画審議会	市成人式	議会だより編集特別委員会	消防出初式	消防年末夜警巡視	議会だより編集特別委員会	定例会閉会	議会だより編集特別委員会	議会運営委員会	本会議(一般質問)	文教福祉委員会	議会運営委員会	本会議(一般質問)	樽見駅前広場	樽見駅多目的施設整備工事安全祈願祭	樽見駅多目的施設整備工事安全祈願祭

●一般質問●



12月定例議会

# 10議員が一般質問に立つ



黒田 芳弘 議員

◎「限界集落」対策を

- ①市内の限界集落の状況は。
- ②政府施策に対し市の方針は。
- ③現在の取り組みと展望は。

60年代から続いた過疎化問題は地区の問題であったが、「限界集落」の問題は日本の国土、国全体の問題であり住民の「生存権」を脅かす深刻な問題と認識すべきです。

「限界集落」の次には「土地所有者の分散化」が続きます。この事態は行政側からすれば国定資産税の徴収を不能にし、維持管理や開発を阻害します。つまり限界集落地域の再生が徹底的に不能化してしまいます。近年「限界集落」がクローズアップされるのは投資効率が悪く、もはや打つ手なしとして切り捨てられる手前の「地域間格差の象徴」としての位置付けがあるからだと感じています。「限界集落」という厳しい言葉で発せられた警告を真剣に受け止め、

今後の市政に反映されますようお願いします。

※「限界集落」：人口の50%が65才以上の高齢者となり、社会的共同生活の維持が困難となった集落

▲集落の再生に取り組みます

内藤・市長

市内の限界集落は現在、根尾地域31集落の内13。65才以上の高齢者が占める割合は根尾全体で39・6%、本巣北部の7集落で31・4%です。定住促進や少子化対策等で地域の活性化に取り組んでいます。依然、過疎化・高齢化が進んでいる現状です。集落の再生に取り組む「全国水源の里連絡協議会」に加盟し事業に参画するとともに、先進事例等を参考とし自治会長会や地域座談会において自治会の再編等、集落の課題や問題点を意見集約し地域の自主自立に向けて取り組んでいきたいと考えています。



大西 徳三郎 議員

◎新生本巣市4年間の総括は

本巣市誕生から4年。新市建設計画・第一次総合計画に基づき初代市長として市政を運営されました。総括を。

▲市政は順調に進展

内藤・市長

「自然と共生するまち」・「快適に過ごせるまち」・「こころふれあうまち」の基本理念のもと、5つの基本方針により計画的に進めてきました。新市建設計画に掲げた3つの最重要プロジェクトについても、おおむね推進できており、市政は順調に進展しつつあると考えています。一層の行財政改革を推進し、安定的な財政基盤を構築し合理的で機能的なまちづくりを推進し、活性化を図り本市の将来像を実現すべきものと考えます。

◎新年度当初予算編成の方針は

交付税制度の抜本の見直し

があり、先々の見通しが不透明である。2月に市長選挙がある中、当初予算をどのように編成されるのか。

また、財政の健全化の目標数値をどこに置いているのか。

▲「経常経費削減」と「自主財源の向上」

内藤・市長

新年度予算は「骨格予算」として編成します。新規事業は新市長の下に6月補正予算で計上となります。「経常経費の3割」を目標に徹底した削減と産業の活性化による「自主財源」のウェイトを高めていくことが経常収支比率の抑制に繋がると考えています。



● 一般質問 ●



若原 敏郎 議員

◎ 地球温暖化対策の進捗状況は

地方公共団体にも、事務及び事業に関し、温室効果ガス排出抑制などの処置に関する計画策定の義務があります。①策定の進捗状況は。②計画に対しての具体的な実施策は。③市民への呼びかけは。

A 実行計画を策定し実施

坪内・市民環境部長

- ①平成18年度に「本巢市地球温暖化対策推進実行計画」を策定しました。平成22年度末までに、17年度対比6%削減が目標です。②まず職員が認識することが重要です。庁議において理解を得、係長級職員を中心に取り組み、電気使用量等の削減に努めています。③市の広報誌8月号に、家庭でできる温暖化対策や環境家計簿等を紹介しています。

◎ 今後の道路整備は

西部連絡道路は本巢縦貫道路のバイパスの機能を持ち、重要な役割を果たしています。さらに、近隣市町からのスムーズな交通の確保が必要で、特に瑞穂市と連携した道路整備は重要と捉えますが。①県道曾井中島・美江寺・大垣線にバイパス機能を持たせた21号線まで抜ける道路を。②リオワールド付近の瑞穂市との連絡道路。

A 関係市町と連携して

服部・産業建設部長

- ①宗慶地内の関ヶ原線から南に向かう、新たな道路整備の必要性及び効果等は、よく調査、研究する必要があります。②道路形態等をよく検討し計画的に進めていきます。



船渡 洋子 議員

◎ 5才児健診の導入を

3才児健診から就学前健診の間に独自に「5才児健診」を設ける自治体が少しずつ増えています。3才児健診では、見落としがちな注意欠陥多動性障害（ADHD）やアスペルガー症候群などの軽度発達障害の疑いをみつけ、より早く子どもの個性に合った支援をするための取り組みです。就学前健診で、発達の遅れが見つかっても、十分な対応ができないまま就学してしまう可能性があると思われれますが。

A 本市は3歳児健診までに、8割発見・支援されている

島田・健康福祉部長

本市では、合併時に、母子保健事業を見直し、軽度発達障害児の早期発見及び早期支援の重要性を検討しました。結果、先進的な取り組みをし「臨床心理士」を設置し発達障害児への早期支援体制を充実してきています。今後さらに、各乳幼児健診での早期発見、早期支援体制を充実し3歳児健診以降の相

談体制を強化してものの無いように努めて行きます。

◎ 緊急地震速報の導入を

「揺れる前に知る！」緊急地震速報を利用した、避難システムの導入ができないでしょうか。また、行政防災無線との連動ができないでしょうか。

A 4月から「緊急地震速報」が受信できる予定

土川・総務部長

本市の「緊急地震速報」は、現段階ではテレビ・ラジオによる受信となります。今年度整備予定の、緊急地震速報、弾道ミサイル発射情報等といった緊急情報を流す「全国瞬時警報システム（Jアラート）」の導入で対応すべく、工事発注してあり、3月に完成の予定です。平成16年に市内全域が南海・南海地震防災対策推進指定地域に指定されていることから、地震発生時には有効な情報源です。実施後は行政防災無線を利用します。

● 一般質問 ●



安藤 重夫 議員

◎ 名鉄損妻線のフラット化は

真正地区内に14ヶ所の踏切があります。3ヶ所は下水道工事に伴いフラット化が済み、3ヶ所は市・県・名鉄において実施済みです。8ヶ所の踏切の開放、特に5ヶ所の狭小な踏切について名鉄への働きかけ、または協議が大切と考えますが経過を伺います。

▲ 協議を進めます

高木・副市長

名鉄は全線買上げを回答していますが、今後とも部分払い下げ、開放に向け努力します。

◎ 永年作物の伐根伐採の状況は

近年、柿梨畑の伐根伐採が進み、元の水田に戻っていませんが、その原因として、農業者の高齢化、後継者不足、生産費の増大に伴う収益の減少等が考えられます。このように水田化が進行する中、今後どのような施策をとられるのか。また、落葉、剪定クズ伐

採伐根の焼却に対する市民の理解、周知を。

▲ 国・県に提起します

服部・産業建設部長

転作奨励金が出ている関係上、生産調整、農業共済問題があります。現行の水田農業制度の問題を国・県に提起していきます。落葉、剪定クズ伐採根の焼却は、野焼に当らず市民の理解に努めます。

◎ EM菌の導入後は

市内幼保小中学校のプール冬期水管理について、EM菌試験導入の結果は。また新たにえひめAIを加えて、下水道管及び最終処理場の発生汚濁の軽減化を提案します。

▲ 継続します

高橋・教育長

顕著な効果がみられました。今後も継続致します。

林・上下水道部長

18年度処理費は6100万円。今後管路清掃費が発生いたしますので市民の協力を得ながら進めます。



鰐本 規之 議員

◎ 本巢小学校、耐震・防水工事について

耐震工事の、入札が不調になった後、なぜもう一度入札をしなかったのか。

▲

杉山・教育事務局長

入札が不調に終わり、見直しをした結果、予算の不足が生じるため外壁補修等の工事と合算発注しました。

◎ なぜ、議会に報告がなかったのか

▲

内藤・市長

議会には、情報を開示していききたい。

◎ 多目的広場周辺の土地課税は

堤防敷地について、利用されている方がいるがその使用料などは。

また、建築に必要な提出書類の不備への対応はどうか。

▲

土川・総務部長

課税の対応はありえませんが、書類の不備な点については、所有者の代表者名が適当でないため申請者からの再提出を考えています。

◎ 契約書・覚書についての役職、名前をどのように考えているのか

内藤・市長

十分調査し、法律の専門家とも相談し、対応していきます。

◎ 堤防敷地の権利について

いつ議会の承諾を得られたのか。

▲

土川・総務部長

糸貫町時代に、平成10年の全員協議会で、土地開発公社の報告で協議がされています。



● 一般質問 ●



白井 悦子 議員

◎ 保育園の施設建築は

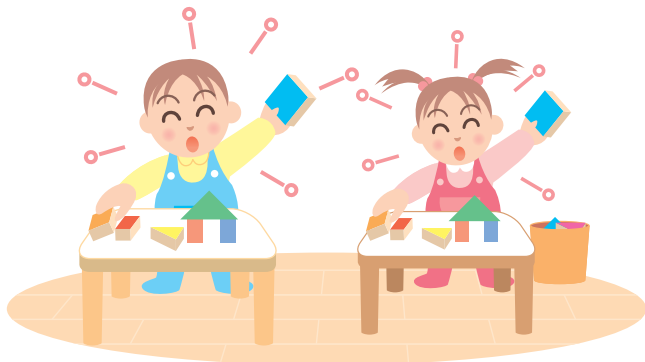
児童福祉施設では、保育園児の安全を図るということは、市の責務として当然です。特に老朽化、耐震性の劣る本巢保育園については、保護者の皆さんの不安は大きく、新築を要望する声が高まっています。

市として、どのような建築計画がありますか。

▲ 施設整備に取り組みます

島田・健康福祉部長

本巢保育園を始め、昭和40年代後半に建設された施設（糸貫東幼児園、本巢保育園、糸貫西幼児園）の老朽化や入所希望園児数の増加に伴う施設（真桑保育園、弾正保育園）の対応を、本年4月に職員による「幼児教育体制研究会」を立ち上げ、施設整備の具体的な計画案を進めてきました。結果、本巢保育園と本巢西保育園の2園を統合し新築する計画案を始め、糸貫地



域の2幼児園の新築、真正地域の2保育園の増築などの計画が示されています。今後は、この研究結果をふまえて、施設整備に取り組んでいきます。



鶴飼 静雄 議員

◎ 幼・保の施設整備を優先的課題に

20～24年に保育園・幼児園を整備する計画が示されましたが、改めて市長の考えを。

▲ 優先的に取り組む

内藤・市長

整備は優先的に取り組みます。幼保一元化は、施設整備にあわせ、地域ごとに対応します。

◎ 後期高齢者医療制度は抜本的な見直しの立場を

来々年4月から、新たな負担、差別医療を内容とする新しい制度がスタートしますが、高齢者・国民の不安に比べ、抜本的な見直しを求める立場で取り組んでほしいと思います。が、見解は。

▲ 広域連合で対応

内藤・市長

後期高齢者医療広域連合で要望していきます。

◎ 介護保険料・利用料の減免制度を

介護保険の負担に加え、後期高齢者医療制度で新たな負担がふえ、高齢者を取り巻く環境は厳しくなっています。安心して長生きできる社会づくりのため、減免制度を考え

▲ 2市1町で

内藤・市長

瑞穂、北方と2市1町で検討していきます。

◎ 医療費無料化の世帯は資格証明書の対象外に

子どもの医療費を無料化しても、保険証の取り上げ、資格証明書を発行しては、その恩恵にあずかれません。国も「対象外に」と指導しています。発行基準の緩和をすべきでは。

▲ ご意見を参考に

坪内・市民環境部長

瑞穂、北方と2市1町で検討していきます。

●一般質問●



浅野 英彦 議員

◎ 今後の樽見鉄道は

JR北海道鉄道のシステムチェンジを図るため、道路とレールの両方を自在に行き来し走行できる乗物(DMV)の研究開発状況と、第三セクターで設立し、数年で営業実績を上げている「えちぜん鉄道」の視察を行い、二つの質問をします。

◎ 2次の経営改善計画は

▲ 連絡協議会で調査、協議

鷺見・企画部長

樽見鉄道支援については平成20年度から23年度までの4年間について、概ね支援継続との了解が得られたところであり、樽見鉄道連絡協議会幹事会において、改善計画の分析や今後の課題などについて調査、協議しているところです。利用促進や、工事計画の見直し、DMVや中古車両の購入も検討する。

◎ 今後の指導・協力は

▲ 関係機関と連携

内藤・市長

経営コンサルタントや監査役に経営監視や分析をお願いし、業務効率の向上を図る事を申し入れます。

行政、地域が一体となって市民の「マイルール意識」の高揚に努めます。

鉄道の存続は、国や県の支援が不可欠であり、補助制度についても、県に平成20年度以降も継続して支援していただくよう、強く要望をさせていただきます。



高橋 秀和 議員

◎ 補助金の見直しは

①見直しの基準はどのようにされたか。  
②担当課での対応は十分なさされているか。  
③性質、性格を考え個々の団体に対する状況を判断して対応されているか。

▲ 鷺見・企画部長

①補助対象事業及び、経費、補助率、補助年数など、「補助金の統一の基準」を設けた。  
②担当者から説明するよう指導している。  
③9つの分類を設定し、各分類に当てはめて補助率を決定した。実態にそぐわないときは検討する。

◎ 施設の修繕・補修は

老朽化、緊急度、危険度を見て優先順位をつけているか。  
▲ 担当部から出された段階で対応している

土川・総務部長

◎ 道路特定財源の暫定税率の継続は

①本巢市に与える影響はどれくらいになるか。  
②財政状況の厳しい中、道路特定財源に対する市長の考えは。

▲ 土川・総務部長

①18年度の決算から見ると約2億円の減収が見込まれる。  
②国に税率堅持を求めます。  
②東海環状自動車道や、国道市道の整備は不可欠です。今後も、暫定税率の堅持を強く国に求めて生きたいと考えています。

内藤・市長



# 委員会活動

## 総務企画 委員会

12月7日(金)

### 審査付託議案

- 1.政治倫理の確立のための本巢市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成
- 2.本巢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 — 全員賛成
- 3.本巢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成
- 4.18年度一般会計歳入歳出決算(関係部分協議)
  - ◎ うすずみの里定住促進事業における水鳥団地分譲地の売却促進のための方策は。
    - Ⓐ 現在、分譲価格、分譲要件の見直しについて検討中です。
  - ◎ 本巢トンネル以北の一部で携帯電話が受信できないところがある。アンテナ鉄塔設置の補助制度はないか。
    - Ⓐ 今のところ補助制度はない。受信できない地域については、地元からの要望があれば、市としても携帯会社に要望活動をしていきたい。
  - ◎ CATV回線を利用した携帯電話の家庭宅内基地局は出来ないか。
    - Ⓐ 可能であるが、専用の機器または携帯電話に特殊なチップを購入していただく必要がある。家庭内基地局より数十メートルの範囲で利用できる。
  - ◎ 根尾川洪水時にライブカメラを設置し、CATV回線を利用して各家庭に増水状況の情報提供は出来ないか。
    - Ⓐ 実施に向け検討していきたい。

### 協議議案

19年度一般会計補正予算(第5号)(関係部分)

### その他

CCnet本巢局の視察を行いました。



▲CCnet本巢局外観



CCnet本巢局内▶

## 委員会活動

### 文教福祉 委員会 12月10日(月)

#### 審査付託議案

##### 1. 18年度一般会計歳入歳出決算(関係部分協議)

- ◎ 特定健康診査、特定保健指導について、健診受診者が少数、肥満者が多い保険者にはペナルティーが課されるか。
  - 平成25年度交付分から後期高齢者支援金に加算減算になる。
- ◎ 自治体の健診が廃止で国保に移ることにより、保険税に影響があるのでは。
  - 現段階では保険税引き上げは考えていない。
- ◎ 環境監視員の労働時間・内容は。
  - 9～16時の間、生活環境保全のための不法投棄等の防止活動。それ以外の時間は3箇所の監視カメラと職員が対応。
- ◎ 犬猫の糞害の対応は。
  - 自治会回覧の広報パンフで周知し、車のパトロール等で対応。
- ◎ 地球温暖化対策実行計画書の内容は。市民には。
  - 市施設で、CO<sub>2</sub>の削減に取り組む内容。職員には認識、啓蒙。市民広報誌(8月号)で。
- ◎ 保育園の正職員配置への取り組みは。
  - 8クラスが正職員でないため今年採用した。今後3年をめどに解消予定。
- ◎ 妊婦健診の無料助成を5回以上にできないか。
  - 現在4回ですが、来年に向け検討。
- ◎ 根尾中学校カナダ海外研修が、不均一課税期間の5ヵ年、平成20年で切れるが。
  - 教育委員会で協議し、根尾地域審議会で検討します。

##### 2. 18年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算

————— 全員賛成

- ◎ 1世帯当たり平均の国保税、前年増の理由は。
  - 介護保険の限度額が引き上げられたことが主な要因。

##### 3. 18年度老人保健医療特別会計歳入歳出決算

————— 全員賛成

#### 協議議案

- 19年度一般会計補正予算(第5号)(関係部分)
- 19年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 19年度老人保健医療特別会計補正予算(第1号)

#### その他

##### ○行政からの説明事項

- ・特定健康診査、特定保健指導について
- ・岐阜県後期高齢者医療広域連合について
- ・本巢市幼児教育体制研究会について
- ・学校給食用新食器の説明
- ・十四条地内での交通事故について

##### ○視察

- ・弾正保育園改修工事、土貴野小学校耐震工事、給食センター建設工事、真桑小学校留守家庭教室の現地視察。



## 産業建設

### 委員会

12月11日(火)

#### 審査付託議案

1. 本巢市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成
2. 本巢市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成
3. 市道路線の認定 ————— 全員賛成
  - ◎ 糸貫屋井地区の道路について土質調査、道路強度試験は行われているか、また問題はないか。
  - 調査、試験を行い問題はない。
4. 18年度簡易水道特別会計歳入歳出決算 ————— 全員賛成
5. 18年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算 ————— 全員賛成
6. 18年度公共下水道特別会計歳入歳出決算 ————— 全員賛成
7. 18年度一般会計歳入歳出決算(関係部分協議)

#### 協議議案

##### 1. 19年度一般会計補正予算(第5号)(関係部分)

- ◎ ぎふクリーン農業生産流通総合整備事業補助金841万5千円がなぜこの時期にあるのか。
- 当初は来年要望であったが県が19年度で補助を区切るため、追加補正したものです。
- ◎ 県の間伐材利用促進事業補助金がなくなったが、本市独自での補助を。
- 対象500haがクリアできないため、要綱見直しを要望します。

##### 2. 19年度公共下水道特別会計補正予算(第1号)

- ◎ 本巢地区の公共下水道で石神地区を入れてはどうか。
- 地元の了解が必要。まだ了解が得られていない。
- ◎ 合併浄化槽の補助の打ち切りは。
- 管路が通っていない所は対象外、7年以内に通るところは補助なし。

##### 3. 19年度水道事業会計補正予算(第2号)

- ◎ 上水、簡水を区分する基準は
- 給水人口で5000人を分岐点とします。

#### その他の質疑

- ◎ 桜交流ランド(うすずみ温泉)の雪害をうけたすべり台がまだ撤去されていない理由は。
- モデル事業の補助金を受けているため、最終的に国、県の判断を仰ぎ決定する。
- ◎ 農地の賃貸で無耕作の整備をしたが、地権者の連絡がとれない。
- できるだけ手伝いをしたい。
- ◎ 米の価格に補助がされた。減反が実行されない地域へはペナルティを。
- 生産調整のシステムがあります。

#### その他

真正処理場、認定道路、本郷地区砂利採取予定地視察



●この人に聞く●

Interview

●インタビュー

# 矢野 勝 旧真正町長に聞く

合併して4年がたちますが、旧町村長に合併後の本巢市についてお話を聞きます。  
 今回は旧真正町長 矢野 勝氏にお話をお聞きしました。

**Q 合併して4年がたちます。**

合併したメリットはどの程度ですか。

① 同じ地域に住みながら自治体が違うことで、受けられるサービスが違っていましたが、合併により同じサービスが受けられるようになったこと。たとえば、乳幼児の医療の無料化などです。

② 合併したことにより、大きなプロジェクト事業ができる。給食センター建設にしても、ケーブルテレビにしても全市に引くことができる。これも合併の効果ではないでしょうか。

デメリットはどの程度ですか

分庁舎方式はマイナスではないかと感じる。効率が悪いのではないのでしょうか。

**Q 合併後の公共交通機関について**

(もとバス・樽見鉄道)

もとバス

思い切つて廃止し、タクシー会社と契約し必要なときに利用してもらうほうがいいのではないかと考えます。高齢者福祉という面からよいのではないのでしょうか。

樽見鉄道

根尾地域の方でも、どの程度乗られるのか。利用しようと言われる方も、日常では車を利用しているのでは。

根尾地域の小学校、中学校の子は本巢地域か糸貫地域に下宿をつくり本巢か糸貫の学校に通わせてはどうでしょうか。子供のためにもよいのではないかと考えます。子供のことを考えたら思い切ること必要。そういった議論をする時期にきているのではないのでしょうか。



**Q 市内の道路網(計画)について**

どのよう感じますか

道路は産業の発展の基礎。企業誘致のためにも道路整備は欠かせないものと考えます。

**Q 斎場(火葬場)について**

どうですか

斎場の建設に対しては総論賛成。各論になると話がまとまらないのが現状。現在の火葬場は環境整備が整えば問題はないと感じています。周囲にあまり影響はないのではと考えます。

また、斎場は絶対必要なものです。

**Q 今後の課題について**

何かありますか

西濃環境整備組合から出る焼却灰の最終処分場について、将来的に持ち込んだ所で処分する話になっていた。受け入れてもらえなくなった場合のことを考え、処分場を検討していかなければいけないのではないのでしょうか。

**Q 今後の本巢市に期待すること**

合併してよかったという実感がもてる市になつてほしいと思います。



旧真正町長 矢野 勝氏

矢野氏経歴

- ・昭和31年 真正町職員
- ・平成 3年 町長就任
- ・平成16年 本巢市社会福祉協議会長に就任。現在に至る。